

藤沢商工会議所経営発達支援計画（平成 28 年度分）に対する事業評価会議結果について

開催日時：平成 29 年 6 月 9 日（金）午後 2 時～午後 4 時 15 分

開催場所：藤沢商工会議所 2 階会議室

本所経営発達支援計画に基づき、記載の事業（平成 28 年度分）について、地域の状況を把握している外部有識者（4 名）による、事業の検証会議を開催し、実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行った。

事業の評価については、推進状況、成果、満足度等を A（大いに良好）・B（良好）・C（見直し）といったランク付けにより評価を数値化する。

A 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 80%以上の評価

B 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 50%～79%の評価

C 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 49%以下の評価

外部有識者（順不同）

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部地域振興部
- ・神奈川県かながわ中小企業成長支援ステーション（中小企業支援課海老名駐在事務所）
- ・藤沢市 経済部産業労働課
- ・神奈川県よろず支援拠点（中小企業診断士）

事務局出席者 4 名

経営発達支援計画に対する事業評価・見直し結果
次のとおり

藤沢商工会議所経営発達支援計画（平成 28 年度実績分）に対する事業評価結果

1. 地域の経済動向・需要動向に関する情報提供

事業等	評価			
(1) 日商 LOBO 調査、景気ウォッチャー調査、雇用動向調査	A	A	A	A
(2) 経済動向調査の分析説明会	B	B	B	B
(3) 景気動向・需要動向等について調査及び分析、公表	A	A	A	A

講評等：一部目標数値をクリアしていない項目はあるものの、全体の取組みとしては、着実に成果があがっていると思われる。県中小企業支援課においても中小企業の実態調査を行っているので、参考にしてください。

2. 経営分析に関すること

事業等	評価			
(1) 経営分析	A	A	A	A
(2) 業種別情報交換会	A	A	B	A

講評等：経営分析は大幅増で努力されている。業種別情報交換会は、5業種でよいか、増やすべきか要検討。

3. 事業計画策定支援に関すること

事業等	評価			
(1) 経営計画策定支援セミナー	B	B	B	A
(2) 個別専門家相談	A	A	A	B
(3) 事業計画策定支援	A	A	A	A
(4) 小規模事業者経営発達支援融資	A	A	A	C
(5) 経営革新支援	B	B	A	C
(6) 創業支援	A	A	A	A

講評等：小規模事業者経営発達支援融資は目標値には達していないが、県下で唯一ということで高く評価できる。経営計画策定支援セミナーの受講生は目標に達していないものの、個別専門家相談件数は飛躍的に伸びており、会議所としての積極的な取組み姿勢が伺える。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業等	評価			
(1) 事業計画策定後の支援	B	B	A	B

講評等：フォローアップ支援は件数だけでは評価できない部分がありますが、引き続き、重点的に取り組むことで伴走型支援を実現していただきたい。

5. 需要動向調査に関すること

事業等	評価			
(1) 需要動向分析	C	B	A	C

講評等：実際にフォローしている件数で捉えるべきと考える。また、受けた効果（企業にとっての成果）も出していくとよいと思う。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

事業等	評価			
(1) イベントによる需要の開拓と販路拡大	A	A	A	A
(2) 商工会議所等連携によるビジネス交流会	A	A	B	A
(3) 公的機関等との受発注促進	B	B	B	C
(4) ① IT活用による需要の開拓（B to Cの販路拡大）	C	B	B	C
② 〃（B to Bの販路拡大）	A	A	A	A
③ 〃（商圏分析ツールによる需要開拓）	B	A	A	A
(5) 観光客をターゲットとした需要開拓	A	A	B	A
(6) 展示会等への出展支援	B	B	A	B
(7) 海外展開による支援	B	B	C	A

講評等：地域の独自性を高めるという意味で「地元でのイベント」の活性化、ビジネス交流会の取組みなどは高く評価できる。外国人観光客に向けた需要開拓の取組み（外国版・国内版飲食店マップ作り・アプリ開発）なども高く評価できる。海外展開支援は難しいところであるが、ニーズを的確に捉えてほしい。

7. 地域経済の活性化に資する取組

事業等	評価			
(1) 藤沢宿遊行の盆	A	A	A	A
(2) ブランド料理等の新製品研究・開発	B	B	B	C
(3) 藤沢駅周辺の商店街と大型店が連携事業「LOVE 藤沢」	A	A	A	A

講評等：ブランド料理等の新製品研究・開発は、実際には取組みに向けた活動中というこ
とで「未実施」ではなく「未達」であり、引続き取組んでいくことが重要。ブランド料理
開発は努力しても必ずしも可能となるものではないが、継続的な取組みを期待する。

8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業等	評価			
(1) 経営革新セミナー・創業セミナーの関係機関との連携・取組	A	A	A	A
(2) 企業情報交換会事業の取組	A	A	A	A
(3) 厚木基地とのビジネスマッチング事業の取組	A	A	A	A
(4) 県下商工会議所との情報交換についての取組	A	A	A	A
(5) 日本政策金融公庫等の支援機関との情報交換についての取組	A	A	A	A

講評等：積極的に取組んでいる貴会議所にとっても、情報収集は重要と考える。更なる
改善により実績向上が望まれる。県内各支援機関との連携についても積極的に展開して
いる様子が伺えるので、今後更に大きな成果が期待できる。

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業等	評価			
(1) 経営指導員の研修内容	A	A	A	A
(2) 専門家と経営指導員との支援体制	A	A	A	A
(3) 経営指導員の情報共有	A	A	A	A
(4) 商圈分析手法、経営計画書策定に関する研修	A	A	A	A
(5) 経営指導員の自己研鑽	A	A	B	A

講評等：現在、国では特に事業承継に対する支援に重点を置いており、60才以上の経
営者には承継診断を積極的に行うよう勧めています。今後、経営指導員の皆様も相談対
応できるようスキルアップしていただければと思います。

10. 経営発達支援計画に基づく全体的な事業評価

評 価			
A	A	A	A

講評等：目標をクリアするとともに、前年実績を大幅に上回っていることで、商工会議所としての日常の努力が伺える。